

令和元 6月1-2日

第2回 足の構造と機能研究会

発表者: 西村 勇輝 池内 亮

開催場所: 森ノ宮医療大学

足を知るために！

足は人間の体の中で唯一地面に接していて、体の動きを誘導してくれる部位です。

また、足に体重が加わると足首の造りは複雑になり、不安定となるため、足首の捻挫など簡単に怪我をしやすい部位でもあります。

そのため足に対するリハビリテーションは、足の知識と機能を理解し、取り組まないと患者様に良好な治療を提供することができないと感じていました。

そこで、今回初めてこのような学会に参加しました！！



ポスター発表してきました！

【演題】

荷重量が足関節遠位脛腓関節に与える影響

リハビリテーション部

西村 勇輝



【演題】

足関節内外果の骨構造と足関節遠位脛腓関節の関係性について

リハビリテーション部

池内 亮



印象記

今回、男女別と足首の関節の関係性について調査し、発表してきました。結果は、男性は骨が大きく、体重も重いことから、足首の関節においても大きいことがわかりました。

手術により足首を数週間固定していた患者様が足を地面につき始める際は、今回発表した内容を活かして、リスク管理を徹底し、安全にリハビリテーションを実施していくよう努めていきます。

リハビリテーション部 池内 亮

